

校長のつぶやき II

校長室便り 第54号

令和3年1月21日 山内

○3年生の来室 –お陰様で合格しました–

1月19日(火) いつもよりも朝早く自宅を出たのですが、大和町、大衡村あたりからは横からの雪交じりの強風で視界が極端に悪くなり、2時間30分かけてやっと城山につきました。昼頃には全国ニュースにもなった古川 IC 付近の重大事故の原因となった「ホワイトアウト」だったのだと思います。でもそんな疲れも吹き飛ばすようなことができました。

3年生のある生徒が、担任の先生とともに進路決定の報告に来てくれました。おそらく吉田先生あたりの策略かと思いますが、試験前に校長室で面接をした生徒です。たった数分の模擬面接でしたが、コロナの関係でこれだけ医療従事者の負担が大きく取り上げられているにもかかわらず、傷ついた人のために看護の道にどうしても進みたいという強い意志が伝わってきました。

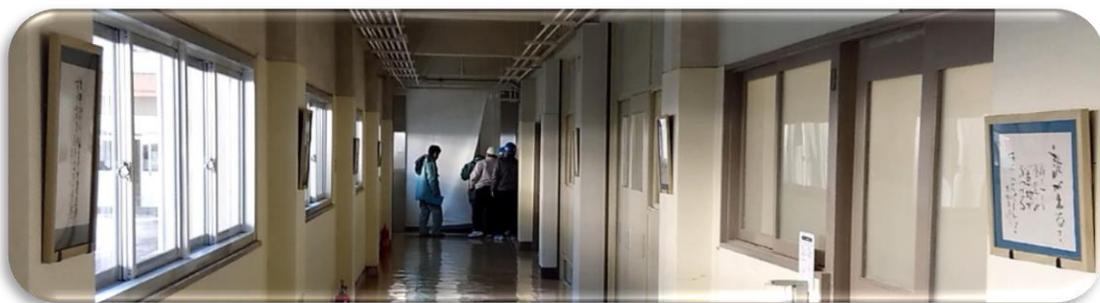
昨年の3年生には卒業式で話したのですが、我々人間には必ず用、すなわち役割、使命があると思います。役に立たない人間はいないし、必ずや使命を帯びているのです。私達一人一人に必ず天が託した役割があるのだと思います。社会的に成功を収めて、福祉に寄与する役割の人もいます。ノーベル賞を取って人類に大きな貢献をする人もいます。スポーツ選手として大成して人々に夢を与える役割の人もいます。しかし、このような大きな使命でなくとも良いと思います。自分がどんな些細なことでも良いから、人間としての役割や貢献を担っていればよいのです。コロナ禍にあって看護を目指す覚悟を持つこの生徒は、将来その医療現場で、なくてはならない看護師になることと思います。

3年生98名の進路用調査書はほとんど全員決済しました。しかし残念ながら進路未決定の岩高生がまだ数名いますが、先生方が最後までしっかりサポートします。世の中には2、3日前に第一関門テストを終えたばかりで、まだまだ進路が決まっていない高校生がたくさんいます。中には3月1日の卒業式以降に受験する高校生だって少なくありません。絶対に諦めないで、自分が帯びた使命に向けて粘り強く挑戦し続けてください。

○新テスト –高校は2年目、大学は共通テスト初年度–

大学入試は長らく行われてきた「センター試験」から「共通テスト」にかわりました。マークシートからの脱却で、国語・数学では記述形式、英語は民間試験活用等大きな変化が予定されていましたが、問題数の多さや資料読み取り形式が増えたものの、結局問題の本質も気になる平均点も「センター試験並み」だったようです。1、2年の皆さん、是非チャレンジしてみてください。解ける問題たくさんあります。

宮城の高校入試は前後期一本化されてから2年目、昨日は出願希望調査(旧予備調査)が公表され岩高はまだまだ定員に余裕がある結果となっています。3月4日の試験に向け、本出願は2月15日から18日までの期間です。中学生の皆さん、お待ちしております。



○防火扉工事完了

長らく工事の騒音等でご迷惑おかけしましたが、このたび新しい防火扉が完成しました。県色の緑です。